



理系女性のキャリアインタビュー

女性が働き続けるために大切なのは制度ではなく、技術を習得すること、社内で信頼を得ること

2児の母でありながら新日鉄ソリューションズでシニア・マネジャーとして数々のプロジェクトに携わってきた進藤さん。忙しいエンジニア職でありながら、出産後もプロジェクトマネジャーやネットワークエンジニアとして活躍されている彼女から聞いた、女性が働き続けるためのコツとは。



Kyoko Shindo

就職活動では、新日鉄ソリューションズの
どのような点に関心を持ちましたか

*

社会インフラ関連のシステムを多数手掛けていることに関心を持ちました。

大学での研究テーマは「土砂災害の発生予測」。災害が起きるメカニズムを把握することで対策を考え、人命を守りたいと考えていたので、就職活動でも社会インフラ関連の仕事に関心がありました。当時から新日鉄ソリューションズはさまざまな社会公共のプロジェクトを手掛けていました。例えば、現在手掛けているプロジェクトとして、私が担当している気象衛星関連システムがあげられます。気象情報の精度を上げることと自然災害から人命を守ることに間接的に貢献できていると感じています。

しかし、実はその反面、「もっといろんな分野に挑戦してみたい」という思いもあり、公共以外にも産業・流通、金融なども手掛けている当社の事業領域の広さも魅力に感じました。

このように初めは新日鉄ソリューションズの事業内容に興味を持っていたのですが、最終的な入社決め手になったのは、選考過程で出会った当社の現場社員が、全員いきいきと仕事をしているように感じたからです。「一緒に働きたい社員がいるか」を、企業選びの軸として考えていたので、強い魅力を感じました。

どのような点に人の魅力を感じたのでしょうか

*

1対1で現役エンジニアと話せる機会があり、特に

印象に残っているのは中堅の男性マネジャーの言葉です。私が「プロジェクトに女性を入れるのは出産休暇などリスクがあるのではないかと率直に聞いたところ」「リスクをゼロとして考えているわけではないが、それは数ある管理されたリスクの一つにしか過ぎず、性別がプロジェクトのアサインに影響することはない」との答えが返ってきました。この答えが非常に印象的で、冷静に事実を受け入れて対処する会社なのだと感じました。また、そういう方がいらっしゃる反面、別の女性SEが非常に爽やかでかわいい感じだったのは印象的でした。エンジニアの方は激務で疲れているのかなと、勝手に思い込んでいたのですが(笑)。

就職活動時の会社選びでは、女性だからこだったというポイントは正直ないんですよ。各種制度がきちんと整備されているかはチェックしましたが、「一緒に働きたい人がいるかどうか」の方が優先度としては大きかったですね。

現在はどのようなプロジェクトに参加されているのですか

*

いま担当しているプロジェクトは、気象衛星「ひまわり」の地上システムの設計です。衛星を地上から制御し、衛星が撮影してきた画像を処理して気象庁に届けるというものです。衛星を適確に制御し、画像データを気象庁へ配信することが求められます。システムに故障が発生しても止まることは許されないので、何重もの障害対策を検討して構築するなど万全を期する必要があります。そのほかに担当したプロジェ

クトでは、様々な人工衛星の地上システムや研究機関向けのHPC（高性能計算：High Performance Computing）システムの構築などがあります。

印象に残っているプロジェクトは

*

官公庁向けの土砂災害の警戒情報作成アプリケーションです。自分の研究テーマと近かったこと、入社して初めて参加したプロジェクトだったことから印象深いプロジェクトです。システムをゼロから構築する案件だったことに加え、お客様にとっても初めて使用されるアプリケーションでした。そのため、双方が手探りでプロジェクトを進めました。苦労は多かったですが、アプリケーションが実際に稼動し、サービスマンしたときは「頑張った甲斐があった」と感動しました。

2児の母と伺いました。

女性が働く環境として感じることはありますか

*

実は、いまの部署での出産は私が初めてだったんですよ。周囲は妊婦ということで、いろいろ気づかいをしてくれましたが、幸い健康な妊婦だったので（笑）、産休に入るまではそれほど働き方は変わりませんでした。私は「妊婦だからといって簡単な仕事しかアサインしない」という環境だと仕事へのモチベーションが維持できないので、必要以上の特別扱いはしないよう、周囲にもお願いしていました。

とはいえ、途中で仕事を抜けなければならないのは確かなので、産休に入るまでに区切りのつく案件にア

サインしてもらおうようお願いしていました。また、急に体調を崩す可能性もあるので、周囲に自分の仕事をしっかりと共有し、「何かあったときはお願いします」というスタンスを取っていました。仕事を自分ひとりで抱え込むことがないよう、情報の共有には特に気をつけていましたね。職場復帰の際は、事前に上司と面談して労働時間などについての要望を伝え、双方の希望をすり合わせました。

復帰後、働き方は変わりましたか

*

大きく変わったのは、残業をしなくなったこと。現在は、9時〜16時20分で勤務しています。また、急な子供の体調が変わることなどもあるので、「絶対に休めない」、仕事は難しいと上司に理解してもらっています。残業ができないので、時間に対する意識は変わりましたね。限られた時間の中で質の高いアウトプットをするため、もう一段上の技術、切り札を増やさなければいけないと感じています。

当社は、短時間勤務ができる期間が長い（子供が小学校3年生までの間で最長6年）など、働きながら子育てをする制度は非常に充実しています。一緒に働くメンバーも協力的で、組織でサポートし、最適解を出そう、という姿勢を感じますね。会社以外のことを言えば、夫が協力的というのもありがたいですね（笑）。

理系女子へのメッセージをお願いします

*

「女性が働きやすい制度」はいろいろあるかもしれ

ませんが、最終的に道を切り拓くのは自分。各種制度の有無だけで企業を判断することはお勧めしません。制度を活用して自分の満足いくような働き方ができるかどうかは、自分が周りにどれだけ働きかけられるかにかかっています。そのためにはまず、自分自身が「どんな働き方をしたいのか、どんなキャリアを描きたいのか」を理解していなければいけません。自分がどうしたいのか分からなければ周りもどうしていいかわからないですから。

女性は出産で働き方・生活が大きく変わります。だからこそ、それまでに会社内で技術を身に付けていくこと、信頼を積み重ねていくことが非常に大切です。それがあって初めて、制度を活用した働き方が受け入れられます。理系女性のみなさんはそれを頭の片隅に留めてキャリアプランを考えてほしいですね。

Profile



進藤 恭子 (しんどう・きょうこ)
 新日鉄ソリューションズ株式会社
 社会公共ソリューション事業本部 衛星統括グループ
 シニア・マネジャー
 京都大学大学院 農学研究科 森林科学専攻 修了



理系女性のキャリアインタビュー

働きやすい環境に欠かせないのは、 上司と本音で話し合える風土

SK-II、マックスファクター、ファブリーズ、アリエール、パンパース—数々の消費財ブランドを擁し、世界180カ国以上でビジネスを展開する世界最大の消費財メーカーP&G。同社の日本法人でPS (Product Supply / 生産統括) として活躍されているのが今回お話を伺った小坂さん。世界を舞台に「ものづくりのすべてが体感できる」という現在の仕事の魅力、そして女性としてのキャリアを聞きました。



Naoko Kosaka

理系に進まれたきっかけは

小さい頃から科学館やプラネタリウムに行くのが好きだったんです。父が物理の教師をしていたこともあって、ほかの子供より「科学」に触れる機会が多かったかもしれません。

そんな環境だったので科学に対する興味は高く、大学時代までは研究者になりたいと考えていました。しかし、大学生活を通じてさまざまな人と会い、考えに触れたことで「研究職という特化した領域ではなく、ビジネスを見ながらものづくりに携わりたい」、そして「自分で作ったものを、多くの人に使うてもらい、自分でもその製品を使ってみたい」と思うようになりました。

就職活動はどのように進めましたか

学部3年のときは大学院への進学も考えていたのですが、「就職活動のチャンスがあるなら、この機会に世の中の会社を見てみよう」と思い、情報収集して出て会ったのがP&Gでした。私が企業を選ぶ際に重視していた軸は三つあって、一つは「ものづくり」にかかわれること。二つ目は自分にとって身近な製品、消費財や日用品といったものを作るメーカーであること。三つ目はグローバルに活躍できるフィールドがあること。P&Gはこれら三つがすべてそろっていました。

最終的に入社を決意したのは、選考過程で出会った当社の社員全員が非常に魅力的だったから。社員それぞれが輝いていて、夢を持ちながら働いているという印象を受けました。また、学生相手でも誠実に、自社

のいいところも足りないところも包み隠さず話してくれたのが印象的で、この人たちと一緒に働きたいと強く思いました。

入社してからはどのような仕事に携わったのでしょうか

私が所属するps (Product Supply / 生産統括) のミッションは「戦略的トータルサプライチェーンの構築・運営・最適化を通じて、会社の利益成長・売上伸張を促進させる」こと。原材料の購買から生産ラインの設計、日々の工場での生産、需給予測、物流までを一貫して手掛けることができ、「ものづくりのすべてが体感できる」。そんなものづくりのダイナミズムを感じられるのがこの職種の魅力です。

就職活動の中で研究開発という選択肢もあったのですが、研究開発が専門性を掘り下げていく仕事だとすれば、P&GのPSはものづくりという軸を持ちながらより幅広いビジネスパーソンとしての経験、成長ができる仕事。いろいろなことに挑戦したいと考えていた自分に向けている働き方、職種だと考え、PSを選びました。入社してすぐに携わったのはパンパースを生産する明石工場での生産管理。入社3年目にはアメリカに転勤となり、新製品の生産ライン立ち上げや製品開発チームに加わりました。日本に戻ってからは製品の需要予測を担当し、シレットやプリンゲルズ、アィムス・ユーカヌバ (ベットフード) の担当を経て、現在はファブリックケア製品 (アリエール、ボールド、レノアなどの洗剤・柔軟剤) 全般を担当しています。需要予測は数字を管理する仕事なので、需要・パターンの分

析や統計学に基づいたシミュレーションをすることで理系の知識や思考プロセスを活かしています。また、自分の担当する製品群が市場でどのように消費者の手にとられているのかというビジネスの動きを実感できることも面白さの一つです。

これまでの仕事で印象深かったのはアメリカに駐在し、ほかに日本人が一人もいない環境で仕事、生活をしたときですね。グローバルな環境で働きたいとは思っていたものの、異なる文化や考え方を持つ人の中で成果を出すことは非常に大きなチャレンジでした。そこでできた友人、仲間は今でも大切な存在であり財産です。自分のキャリアの可能性も広がったと感じており、非常にエキサイティングな経験でしたね。

女性が働く環境としてはいかがでしょうか

*

P & Gは性別や国籍に関係なく、働きやすい会社だと感じています。たとえ、出産休暇や育児休暇を取得したとしても、それ自体が評価に影響することはありません。なぜならば当社は「個人個人の成果、パフォーマンスを評価する」というフェアなスタンスだからです。

また、個人的に感じているのは、「意見を言いやすい環境が働きやすい風土を作る」ということ。当社は一人一人の社員を尊重して、いいことも悪いことも含めて伝える文化があります。例えば「育児休暇の復帰後に自分がしている仕事ではない仕事になる可能性もある」と伝えられることもあります。しかし、そういった可能性を含めて、お互い対等な立場で自分のキャリア

アについての希望を上司と話し合うことができるので一人一人の社員の納得感が高いですね。

女性がキャリアを考える上で、気をつけるべきことはありますか

*

自分自身も含め女性のキャリアや家庭の事を考えた時に、例えば出産などのタイミングでどうしても仕事を休まなければならない事情が出てきます。先ほどもお話ししましたが、P & Gは上司と自分のキャリアについて何でも話し合える環境なので、私も出産の可能性や意思などは常に上司に伝えていきます。さまざま可能性を含めて自分の状況を包み隠さず共有することで会社は、できることとできないことを正直に伝えてくれます。このような環境があるからこそ、自分自身のキャリアや家庭についての優先順位付けができるのかなと思っています。女性はライフプランによっては常に仕事を最優先とすることは難しいと思います。とはいえ、自分自身のライフプランの中で、あるときは仕事に没頭し、あるときは育児休暇を取得して家庭の事に専念するといったように優先順位を考えられる、変えられる環境がいいのではと思っています。

理系女性へのメッセージをお願いします

*

家庭を持って子どもを産み育てるという人生のターニングポイントにおいて、男性より女性の方がより難しい選択を迫られることがあると思います。その場合で、「何を最優先にすべきか」をしっかり考え、明

確にしなければ選択を誤り、チャンスを逃すこともあるでしょう。その時々で「自分にとって何が一番大切なのか」を考えることは、自分自身のキャリアを築く上で非常に大切なことと感じています。

就職活動においてのアドバイスをするなら、「自分に正直になって面接を受けた方が良い」ということ。自分に正直にならないければ、相手も正直にはなりません。本音を出すのは怖いと思う方もいるかもしれませんが、本当の自分を見せることで相手も心を開いてくれます。「自分が何を考え、どうしたいのか」、「何を希望し、何が不安なのか」本音を伝えることで、正しい選択をするために必要な情報が得られるはずです。相手のことを知らなければ、選びようがありませんから。理系学生は選択肢を絞りがちですが、選択肢を広げることが可能性は広がります。就職活動は自分の可能性を広げる貴重な機会なので、いろんな可能性を考えて就職活動に臨んでください！

Profile



小坂 尚子 (こさか・なおこ)
P&G (プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン)
PS (生産統括) / デマンドプランニング
デパートメントマネージャー
九州大学 工学部 物質工学科 卒